

関係各位

平成30年8月9日
全国高等学校情報教育研究会
会長 牛来 峯聡

「未来投資会議」において示された、大学入学共通テストに教科「情報」の試験を導入する方針を受け、子供たちの将来や、我が国の未来に向けて、積極的に活動を推進してまいります。

全国高等学校情報教育研究会は、未来投資会議において示された
大学入学共通テストに教科「情報」を導入する方針を受け、
より一層の研究・研鑽、および研修機会の提供等を積極的におこなってまいります。

未来投資会議（第16回～第18回）において、「情報教育の抜本強化、新学習指導要領における情報科必履修科目「情報Ⅰ」が大学入試においても、国語・数学・英語のような基礎的な科目として、情報科目を追加、文系、理系を問わず理数の学習を促していく。」として、大学入学共通テストに追加される方針が示されました。また、新たに講ずべき具体的な施策として、「教科「情報」が大学入学共通テストにおいて、平成36年度から必履修科目「情報Ⅰ」などの新学習指導要領に対応した出題科目とすることについて、本年度中に検討し、早期に方向性を示す。」こととしています。

こうした動向に向けて、全国高等学校情報教育研究会では、設立以来10年にわたり、情報に関する発表や研究協議を定期的に行うとともに、研究会のネットワークを全国に広げ、互いの情報交換を活発にし、交流を深めることで、よりよい情報教育の推進へ微力ながら寄与してまいりました。特に、教科「情報」についての実践や研究の発表を積極的に行い、情報モラル、問題解決学習、プログラミングなど、高等学校の教育現場で働く教員による多くの事例や活動を共有し、情報科教員のスキルアップの一端を担ってまいりました。

この度、「情報Ⅰ」などが、文系・理系を問わず基礎的科目として、共通テストに加わる方針を受け、これまで本会が担ってきた役割をより一層自覚するとともに、

- ・全国の各都道府県高等学校情報教育研究会等との緊密な情報交換や連携
- ・大会等を通じての実践事例の共有
- ・全国での情報科教員の情報交換を行う場の提供
- ・教員研修に向けた、各種学会や大学・研究機関等との連携
- ・我が国の将来を見据えた、より専門性の高い「情報Ⅱ」や専門教科情報と高等教育との連携

などについて研究・研鑽・実践等を行い、将来を担う子供たちのために、また、我が国の情報教育の発展のために、より一層尽力していく所存です。

[問い合わせ先]

全国高等学校情報教育研究会 事務局
<http://www.zenkojoken.jp/> info@zenkojoken.jp